

病院沿革

大崎市病院事業は大崎市民病院のほか、鳴子温泉分院、岩出山分院、鹿島台分院、田尻診療所、健康管理センターの3分院、2診療所があり、大崎市民病院は高度急性期医療を担い、分院・診療所は地域のかかりつけ医として、病院全体で地域完結型医療を目指している。

その中で、大崎市民病院は、昭和13年12月古川町を中心とする20数か町村の産業組合出資による大崎久美愛病院として開院し、昭和32年度に古川市立病院、平成18年に市町村合併により大崎市民病院となり、県北の基幹病院として急性期医療、高度医療等を担ってきた。

大崎市古川千手寺町の建物は、築後40年以上が経過し、老朽化・狭隘化していたことから、平成26年6月に大崎市古川穂波地区へ新築移転した。沿革概略は以下のとおり。

昭和12年	6月	大崎医療購買利用組合連合会設立許可
昭和12年	11月	病院開設許可
昭和13年	12月	大崎久美愛病院発足 県下初の古川町を中心とする20数か町村の産業組合出資により「大崎医療利用組合連合会」を設立
昭和17年	6月	大崎久美愛病院附属伝染病組合開設。(28床)
	12月	宮城県信用販売利用組合連合会に吸収合併
昭和19年	4月	団体総合により宮城県農業会に移行
昭和23年	8月	宮城県農業会解散により宮城県厚生農業協同組合連合会に移行
昭和32年	6月	名称を「古川市立病院」に改称 病床数218床(一般140床、結核60床、伝病18床)
昭和36年	4月	地方公営企業法全部適用
	10月	古川市外12ヵ町村伝染病院組合設立による伝病棟完成 伝病50床増床 計268床
昭和38年	2月	許可病床数変更 398床に増床(一般270床、結核78床、伝病50床)
昭和40年	10月	病院全面増改築工事設計に着手
昭和42年	5月	病院建設第一期竣工(本館及びサービス棟) 許可病床数352床に再編成(一般302床、伝病50床)
昭和43年	8月	本館及びサービス棟全面竣工
昭和45年	2月	救急告示病院指定
昭和48年	3月	許可病床一部変更 352床(一般282床、結核20床、伝病50床)

昭和 58 年	8 月	許可病床一部変更 352 床（一般 308 床，結核 24 床，伝病 20 床）
平成 5 年	1 月	許可病床数変更 救急医療センター27床増床（うち6床医療法施行規則第30条の32） 許可病床数 379 床（一般 335 床，結核 24 床，伝病 20 床） 救急医療センター建設工事着工，鉄筋コンクリート造 地下1階地上4階建 特定集中治療室 10 床（ICU 6 床，CCU 4 床） 救急専用病床 17 床（HCU 17 床） 一般病床 50 床，地域医療研修室他
	7 月	救急医療センター竣工
平成 9 年	3 月	災害拠点病院（地域災害医療センター）認定
平成 11 年	4 月	第2種感染症指定医療機関（6床）
	11 月	許可病床数変更 425 床（一般 395 床，結核 24 床，感染 6 床） ※実働病床数 375 床（一般 345 床，結核 24 床，感染 6 床）
平成 12 年	3 月	臨床研修病院指定（病院群） シンシナティ大学救急部との国際交流事業の開始
	8 月	許可病床数変更 435 床（一般 405 床，結核 24 床，感染 6 床） ※実働病床数 375 床（一般床 345 床，結核床 24 床，感染 6 床）
	6 月	許可病床数変更 452 床（一般 422 床，結核 24 床，感染 6 床） ※実働病床数 375 床（一般 345 床，結核 24 床，感染 6 床）
	7 月	実稼働病床数 452 床（一般 422 床，結核 24 床，感染 6 床）
平成 15 年	3 月	病院使用許可申請届（南4階病棟4病室病床数変更） 許可病床数変更 救命救急センター3床増床（医療法施行規則第30条の33） 許可病床数 455 床（一般 425 床，結核 24 床，感染 6 床） ※実働病床数 452 床（一般 422 床，結核 24 床，感染 6 床）
	7 月	日本医療機能評価機構 Ver.3.0 認定
	8 月	各病室病床数変更→南病棟 23 床運用開始 地域がん診療拠点病院指定
平成 16 年	3 月	地域周産期母子医療センターの認定 救命救急センターICU室竣工（3床増床）
	4 月	義務化に伴う臨床研修指定病院の認定
平成 17 年	1 月	無菌病室の病床に係る増床（医療法施行規則第30条の33） 許可病床数変更 3床増床 許可病床数 458 床（一般 428 床，結核 24 床，感染 6 床）
	3 月	大崎地方1市6町合併により「大崎市」誕生（3月31日）

併せて病院名も「大崎市民病院」となる

大崎市民病院（本院）

許可病床数 458 床（一般 428 床，結核 24 床，感染 6 床）

大崎市民病院鳴子温泉分院

許可病床数 170 床（一般 50 床，療養 120 床）

大崎市民病院岩出山分院

許可病床数 95 床（一般 65 床，療養 30 床）

大崎市民病院鹿島台分院

許可病床数 70 床（一般 40 床，療養 30 床）

大崎市民病院田尻診療所

平成 18 年 7 月 大崎市民病院登録医制度開始

平成 20 年 4 月 DPC 対象病院

7 月 許可病床変更（一般病床 452 床・結核病床 8 床^{※新病院建設時整備}・感染症病床 6 床 計 466 床）

平成 21 年 9 月 発熱外来待合室整備

平成 22 年 10 月 許可病床数変更（一般病床 442 床・結核病床 8 床・感染症病床 6 床 計 456 床）

平成 23 年 4 月 40 診療科に変更

5 月 電子カルテシステム導入

平成 24 年 3 月 新本院建設工事着工

鉄筋コンクリート造 地下 1 階，地上 9 階建 延床面積 48.390.07 m²

平成 24 年 5 月 入退院センター設置

7 月 地域医療支援病院承認

平成 25 年 3 月 外来化学療法室設置（12 床）

平成 25 年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰

平成 26 年 3 月 大崎市民病院本院竣工

5 月 宮城県北先制医療学講座（東北大学大学院医学系研究科）協定締結

6 月 大崎市民病院開院（新築移転：平成 26 年 6 月 28 日 大崎市古川穂波三丁目 8 番 1 号）

ハイブリット手術室，バイオクリーン手術室整備

PET-CT，リニアック（IMRT 可）の導入

患者サポートセンター（PFM）設置

外来化学療法室 24 床設置

平成 26 年度自治体立優良病院会長表彰

大崎市民病院健康管理センター開設

7 月 大崎市民病院（新本院）外来診療開始（平成 26 年 7 月 1 日）

		NICU 増床 (6 床)
	8 月	指定自立支援医療機関 (更正医療) の指定申請 (心臓脈管外科に関する医療)
	12 月	指定自立支援医療機関 (育成医療・更正医療) の主たる担当医師変更申請 (腎臓に関する医療)
平成 27 年	10 月	許可病床数変更 (一般病床 486 床・結核病床 8 床・感染症病床 6 床 計 500 床 ※稼働病床数 476 床) 診療科目に小児外科を追加
平成 28 年	4 月	DPC II 群病院 稼働病床数変更 (485 床) 熊本地震災害による DMA T 派遣
	10 月	特定集中治療病棟 SICU 開設 稼働病床数変更 (487 床)
平成 29 年	3 月	日本医療機能評価機構機能種別版項目 3rdG : Ver. 1.1 (認定第 JC2159) 認定
平成 30 年	2 月	結核病床廃止 (一般病床 494 床, 感染症病床 6 床 計 500 床)
	4 月	DPC 特定病院群 小児科連携医 (こどもサポート医) 制度開始
	7 月	へき地医療拠点病院指定
	10 月	神経内科から脳神経内科に標榜変更
	11 月	宇和島市病院事業 (愛媛県) と姉妹協定締結
	12 月	肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関指定
平成 31 年	1 月	ISO15189 (臨床検査部門) 認定 (基幹・非基幹)
	3 月	PET/CT 装置の更新
令和 元年	6 月	新生児治療回復室 (GCU 6 床) 設置 稼働病床数変更 (500 床)
	10 月	指定障害福祉サービス事業者 (短期入所) 指定 令和元年東日本台風災害による DMA T 派遣 (丸森町)
令和 2 年	4 月	放射化物を保管廃棄する保管廃棄設備設置 アカデミックセンター設置
	11 月	患者用駐車場に新型コロナウイルス感染症に係る検査等のための陰圧機能付き医療用テント設置
	12 月	児童福祉法に基づく指定小児慢性特定疾病医療機関の指定更新 難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく指定医療機関の指定更新
令和 3 年	1 月	東北自動車道多重事故発生による DMA T 派遣

- 2月 診療用エックス線装置の更新
- 10月 新型コロナウイルス感染症に係る検査等のための陰圧機能付き医療用テントをプレハブに建替
- 令和 4年 3月 災害時使用を目的とした救急車の配備(大崎地域広域行政事務組合消防本部より譲渡)
- 4月 地域がん診療連携拠点病院(高度型)指定
- 7月 公立病院経営強化プラン策定に係る大崎圏域1市4町首長・公立病院長会議の実施
- 8月 経カテーテル大動脈弁留置術「TAVI」導入・初症例
- 9月 大崎地域公立病院経営強化プラン策定調整会議の設置
- 令和 5年 1月 手術支援ロボットにて、「消化器外科」「泌尿器科」「呼吸器外科」初症例実施
- 2月 ISO15189(臨床検査部門)認定更新(基幹・非基幹・病理学的検査(新規), 生理学的検査(新規))
- 3月 電子マネー決済の導入
- 4月 TQMセンター設置
- 5月 日本医療機能評価機構機能種別版項目 3rdG: Ver. 2.0 認定